

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

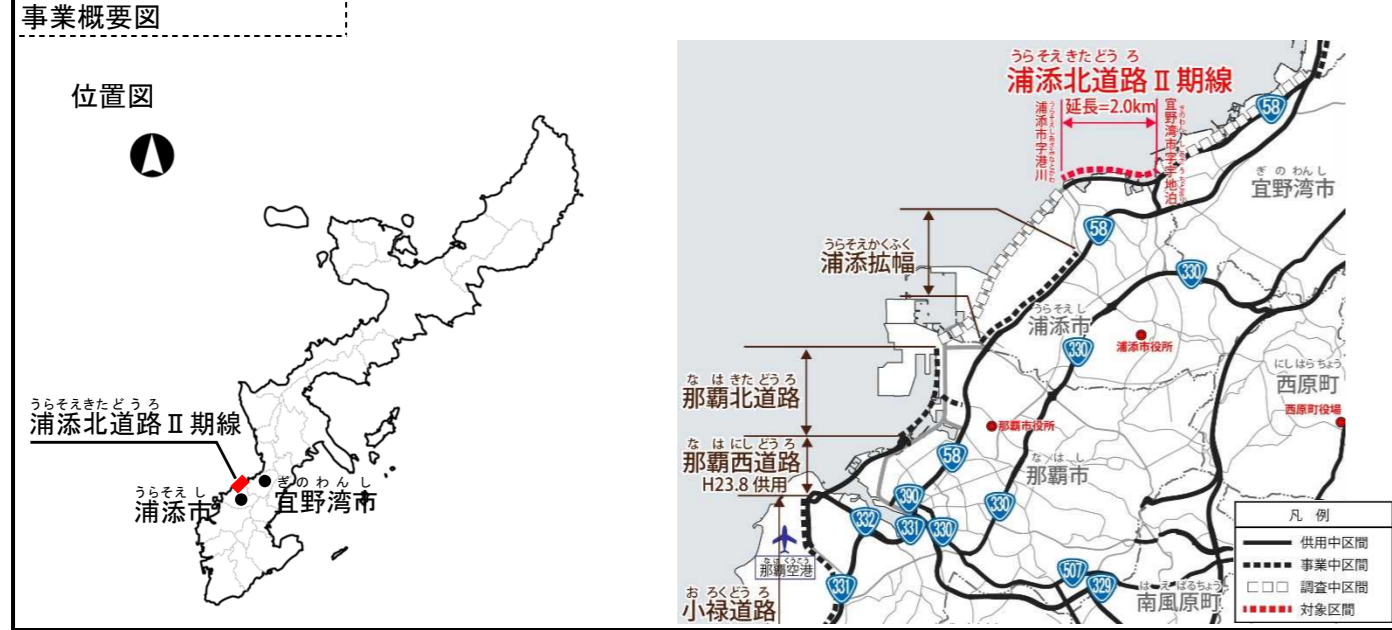
事業の概要

事業名	一般国道58号 浦添北道路Ⅱ期線	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県宜野湾市宇地泊 至：沖縄県浦添市宇港川	延長	2.0km		

事業概要
浦添北道路は、沖縄西海岸道路（読谷村～糸満市）一部を形成し、宜野湾市宇地泊と浦添市宇港川に至る延長2.0kmの地域高規格道路である。浦添北道路Ⅱ期線は、既に供用している浦添北道路を6車線に拡幅する事業である。

事業の目的、必要性
浦添北道路Ⅱ期線は、並行する国道58号の交通混雑の緩和を図るとともに、地域経済・観光産業の活性化及び、安全快適な観光活動を支援する事業である。

全体事業費：約280億円 計画交通量：約38,700台/日



関係する地方公共団体等の意見
浦添北道路Ⅱ期線は、那覇空港や那覇港等の主要拠点へのアクセス性を向上させ、地域経済の発展に重要な役割を果たすことが期待されており、多くの団体から早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H17年9月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.9	総費用：212億円 （事業費：206億円 維持管理費：5.4億円）	総便益：403億円 （走行時間短縮便益：380億円 走行費用減少便益：23億円 交通事故減少便益：0.8億円）	基準年：平成30年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.7 (交通量 -10%)	B/C=2.1 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.7 (事業費 +10%)	B/C=2.1 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.8 (事業期間 +20%)	B/C=2.1 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	浦添北道路、国道58号浦添地区の交通混雑が緩和 【浦添北道路の混雑度】 現況 1.57 ⇒ 整備後 0.59 (約6割改善) 【国道58号浦添地区の混雑度】 現況 1.59 ⇒ 整備後 0.97 (約4割改善)	
		事故対策	○	交通を分散させることにより国道58号浦添、宜野湾市内の観光交通の事故件数が減少。 現況 92件 ⇒ 整備後 69件 (約3割改善)	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	-	注目すべき影響はない。	
		地域経済	◎	・沖縄西海岸地域の交通混雑の緩和や那覇空港・那覇港とのアクセス向上により地域経済や観光産業の活性化を支援する。 【那覇空港～北谷アメリカンビレッジの所要時間の変化】 整備前 46分 ⇒ 整備後 40分 (約6分短縮)	
		災害	-	注目すべき影響はない。	
		環境	-	注目すべき影響はない。	
	地域社会	-	注目すべき影響はない。		
事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了（H17年9月）			

採択の理由

費用便益比が1.9と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、那覇都市圏における交通渋滞の緩和や地域経済の活性化も期待できる等、事業効果が高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。